



令和2年4月1日付 人事異動の概要

高岡市

1 人事異動に当たっての基本的な考え方

新年度は、平成30年度から取り組んでいる「財政健全化緊急プログラム」の中間年にあたり、引き続きプログラムの着実な実行を期すとともに、改定が予定されている「行財政改革アクションプラン」や「公共施設再編計画」とも連動しながら、持続可能な行財政運営が維持できるまちづくりを目指し取り組みを進めていかなければならない。

そのような中、事業の選択と集中を図りつつも、複雑多様化する行政ニーズに的確に対応し、「ひと」づくり、「まち」づくり、「しごと」づくりを総合的に進めていく必要がある。

このため、今回の人事異動においては、持続可能な財政構造の確立を目指した行財政改革に加え、新たな行政課題にもしっかりと取り組むための業務執行体制の強化を念頭に、適材適所を旨として必要な人員を配置したものである。

2 人事異動の規模

()は前年度数

	異 動 数	左のうち昇任
部 長 級	6 (5)	3 (4)
次 長 級	19 (22)	10 (15)
課 長 級	75 (82)	35 (32)
管 理 職 計	100 (109)	48 (51)
副 課 長 級	16 (28)	7 (14)
係 長 級	96 (103)	42 (32)
係長級以上計	212 (240)	97 (97)
上 記 以 外	338 (367)	66 (89)
合 計	550 (607)	163 (186)

3 人事異動における主な事項

(1) 部長級人事について

部長級人事については、業務執行体制の確保を図るための定年延長1名を含め次のとおり発令

【定年延長】

(年齢は R2.4.1 時点。以下同じ。)

職	氏名：年齢（R 元年度の職）
都市創造部長（継続）	ほり ひでと 堀 英人：60（都市創造部長）

【異動】

職	氏名：年齢（R 元年度の職）
市長政策部長	つるたに としゆき 鶴谷 俊幸：56（福祉保健部長（兼）社会福祉事務所長）
市長政策部政策監	あかさか ただよし 赤坂 忠良：56（市長政策部政策監・次長）[昇任]
産業振興部長	ふくた なおゆき 福田 直之：58（市長政策部長）
福祉保健部長 （兼）社会福祉事務所長	かわじり みつひろ 川尻 光浩：58（産業振興部長）
市民病院理事（経営戦略担当） （事）副院長 （事）薬剤部主任部長	やまかわ よしひろ 山川 義寛：63（市民病院副院長（兼）薬剤部主任部長） [昇任]
消防長	うらしま あきひろ 浦島 章浩：57（消防本部次長）[昇任]

<参考>総務部長 二塚 英克(58)、市民生活部長 梅崎 幸弘(55)、福岡総合行政センター所長 柴田 文夫(56)は引き続き同職

(2) 施策の推進に関する事項

① 高岡・氷見消防広域化準備室の設置

令和3年度からの消防広域化に向けた準備を着実に進めていくため、消防本部総務課内に高岡・氷見消防広域化準備室を設置する。

② 防災体制の強化

災害時における消防本部との連携強化を図るため、総務部内に参与（危機管理担当）を配置する。

③ 業務執行体制の見直し

御旅屋セリオを核とするまちなかの賑わい創出を着実に進めていくため、商業雇用課において商業・中心市街地活性化係を、商業振興係と中心市街地活性化係に再編。また、放課後児童

クラブの整備、幼児教育・保育の無償化など複雑多様化する子育て支援へのニーズに丁寧かつ迅速に対応するため、子ども・子育て課において総務係、児童係を、総務係、子育て支援係、入園・給付係に再編。

④ その他体制整備

次期総合計画策定に向けた体制の強化及び国勢調査の実施のため、都市経営課へ事務職2名の増員を行う。また、新年度から開始されるフレイル対策事業への対応のため、専任の保健師1名を保険年金課へ配置する。

(3) 女性職員の登用等

① 女性職員の管理・監督職（係長以上）への登用

一般行政職（一般給料表適用者のうち消防長及び保育士を除く。以下同じ。）について、将来の管理職としてのマネジメント力を早期に育成するため、副課長に3名、係長に4名昇任

【一般行政職の係長以上の役職者数】

(人、%は女性比率)

	H30.4		H31.4		R2.4	
部長級	7		7		8	
うち女性	0	—	0	—	0	—
次長級	17		17		18	
うち女性	1	5.9%	1	5.9%	0	—
課長級	75		63		62	
うち女性	26	34.7%	18	28.6%	16	25.8%
管理職計	99		87		88	
うち女性	27	27.3%	19	21.8%	16	18.2%
副課長級	52		51		44	
うち女性	32	61.5%	29	56.9%	25	56.8%
係長級	101		98		106	
うち女性	45	44.6%	42	42.9%	41	38.7%
合計	252		236		238	
うち女性	104	41.3%	90	38.1%	82	34.5%

② 女性消防吏員の採用

H29年度から女性消防吏員を採用しており、R2年度は2名採用予定。女性職員が消防業務に加わることで、救急現場をはじめ災害現場での市民サービスの向上や業務改善などを図る。

③ 女性職員の研修派遣

長期研修派遣者のうち女性職員1名を南砺市へ派遣する。

(4) 若手管理職の登用

市政の中枢を担う管理職として、一般行政職について、40歳代後半の職員4名を課長へ昇任。

【課長 平均年齢及び最年少昇任年齢の推移】

	H28.4	H29.4	H30.4	H31.4	R2.4
平均年齢	56歳	53歳	52歳	51歳	51歳
最年少昇任年齢	49歳	45歳	45歳	46歳	45歳

(5) 職員の国・県等への研修派遣等

文化庁	1名
富山県総合交通政策室	1名
富山県防災航空センター	2名
富山県首都圏本部	1名
南砺市（とやま呉西圏域連携事業）	1名 [再掲]
多賀城市（災害復興支援）	1名

(6) 人事交流等

北陸地方整備局からの出向受入れ	1名
南砺市からの派遣受入れ（とやま呉西圏域連携事業）	1名
氷見市消防との派遣交流	4名

4 退職者及び新規採用者数

(1) 退職者(3月31日付け)

105名

()は前年度

区 分	人 数
管理職の職員	42 名 (48)
部長級	2 名 (3)
部長	1 名 (3)
理事	1 名 (0)
次長級	12 名 (11)
次長	6 名 (6)
参事	6 名 (5)
課長級	28 名 (34)
課長	7 名 (9)
主幹等	21 名 (25)
その他の職員	63 名 (73)
計	105 名 (121)

※国、県の機関への復帰のため退職する者を含む。

(2) 新規採用者(4月1日付け)

94名

()は前年度

事務職	25 名 (10)	薬剤師	1 名 (3)
技術職	5 名 (5)	臨床検査技師	2 名 (2)
消防職	13 名 (9)	診療放射線技師	2 名 (2)
保育士	15 名 (11)	言語聴覚士	1 名 (0)
保健師	1 名 (2)	作業療法士	1 名 (0)
栄養士	1 名 (0)	看護師	22 名 (25)
医師	5 名 (9)		
計		94 名	(78)

※国、県の機関から採用する者を含む。